

フォーレテ

Vol. 29 発行／深谷市
平成19(2007)年9月1日発行



特集 結婚・家庭生活とパートナーシップ

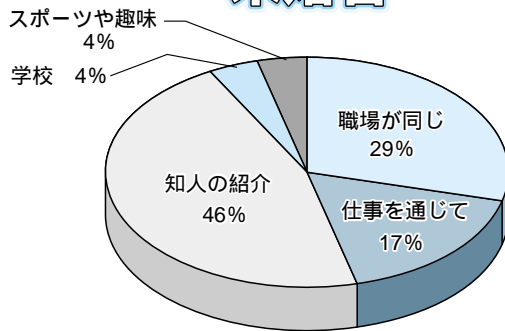
男女の人権が尊重され、共に自立したパートナーとして生きることができる社会の実現を目指し、今回は結婚・家庭生活とパートナーシップについて考えてみました。

「おまえ100まで、わしゃ99まで」共に白髪になっても、仲良く支え合って健康に暮らしたいものです。

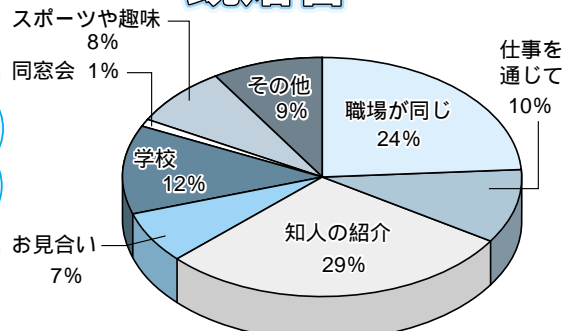
結婚アンケート その1

市内において、既婚のかた及びこれから結婚を控えたかた、合計445名にアンケートのご協力をいただきました。

未婚者

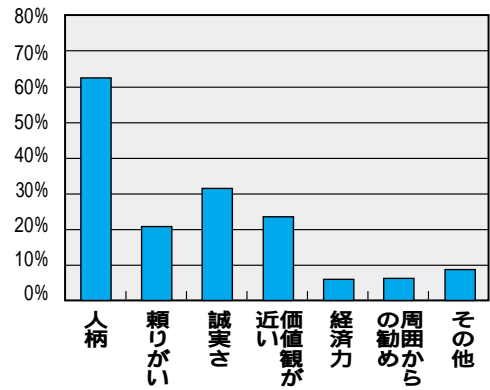
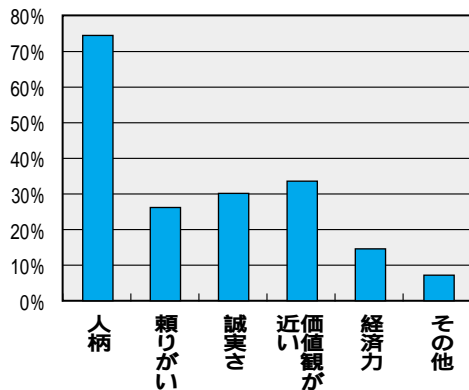


既婚者



Q 知り合ったきっかけは？

Q 結婚しようと思った動機は？
(複数回答可)



♥「知り合ったきっかけ」……「知人の紹介」「職場、仕事を通じて」が既婚、未婚者ともに多くを占めています。年代・男女を問わず、友人知人、職場仲間といった対人関係が大事といえそうです。

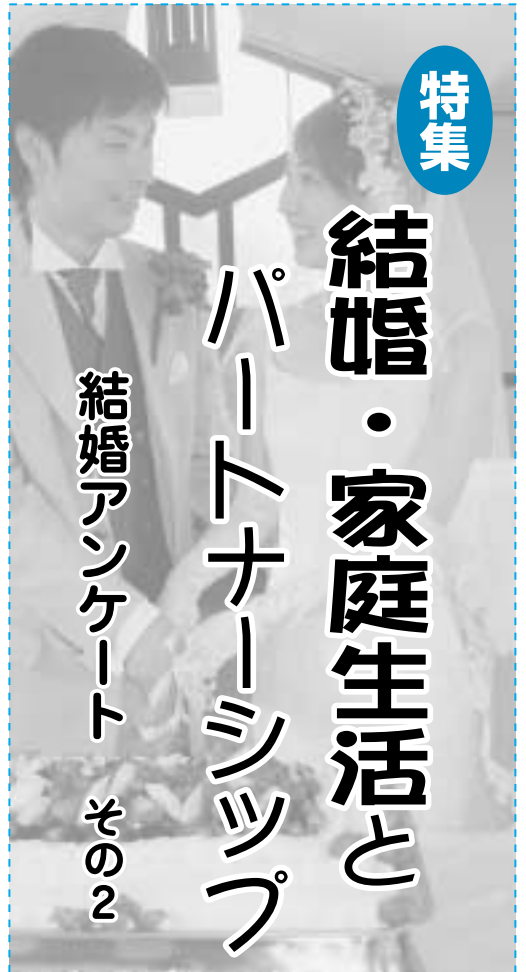
♥「結婚の動機」……男女を問わず「人柄」「価値観が近い」「誠実さ」を挙げる人が多くなっています。ただ、女性の回答では「経済力」を挙げる人の割合も多く、現実には必ずしも「愛」だけでは暮らしていけない(?)ようです。

特集

結婚・家庭生活と

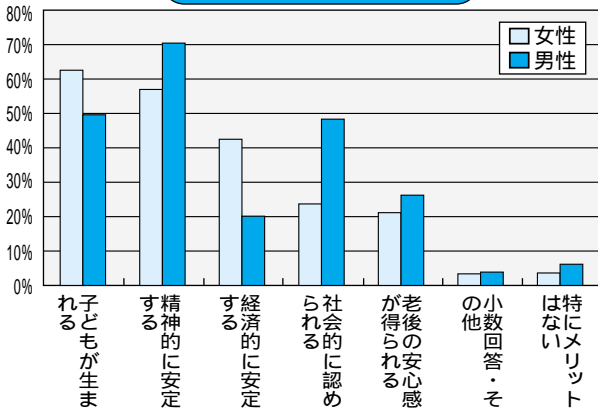
パートナーシップ

結婚アンケート その2

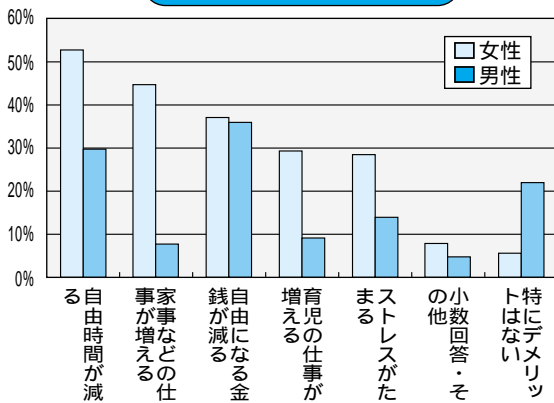


Q 結婚で得られること(メリット)、不自由になること(デメリット)についてどう思いますか？
(複数回答可)

結婚によるメリット



結婚によるデメリット



「結婚によって得られること」と「不自由になること」について、回答いたされた結果です。
男女ともに5割以上の人が、「子どもが生まれる」と「精神的に安定する」

を、結婚のメリットであると考えています。

また、「経済的に安定する」は女性が男性の2倍、逆に「社会的に認められる」は男性が女性の2倍になりました。

少数回答の項目では、「家事などが楽になる」(女性1%・男性9%)や「性的充足が安定的に得られる」(1%・9%)でも男女で違いが見られる結果となりました。

次にデメリットを見ると、上位5項目のうち男女とも同じ割合で挙げているのは、「自由になる金銭が減る」(37%・36%)のみでした。他の項目では、「家事などの仕事が増える」や「育児の仕事が増える」などをデメリットとしてとらえるかとはならないかと、男女間に大きな違いが見られました。

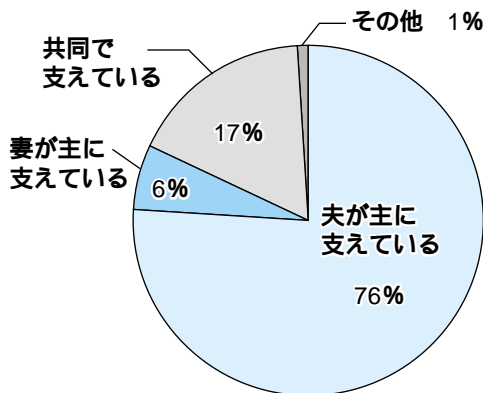
少数回答の項目でも、女性は「今までの仕事を失う」(17%・0%)や「配偶者の親の面倒を見なければならぬ」(14%・6%)をデメリットととらえており、男性との違いが目立ちました。

また男性の5人に1人(22%)が「特にデメリットはない」と答えたのに対し、女性は17人に1人(6%)と少なく、この点でも男女の意識の違いが見られました。

デメリットがあるから結婚生活を否定することは、人生においてあまりに「もったいない」のではないのでしょうか。男女を問わず多くのかたがメリットに「子どもが生まれる」を挙げていたように、デメリットであることも、

裏を返せばそこからしか得られない喜びとなることもあるからです。

Q あなたの家庭の家計は、主にどなたが支えていますか？



「家計を支えているのは主に誰ですか」の問いに、4人中3人が「夫が主に支えている」と答えています。

今回のアンケートでは、回答者の年齢が、30歳代のかたが多く(特に女性)子育て中であり、勤務場所や勤務条件、家庭の状況などから働く機会が少ないため、「夫が主に支えている」との回答が多くなっていると考えられます。

子育ての環境が整備され、家事労働が分担されれば、「共同で支えている」「妻が主に支えている」の回答が増えていくのではないのでしょうか。(K)

【家事ごとの分担】

「いつもする・時々する」と答えた人の割合

	男性	女性
食事の支度	61.6%	98.8%
食事の片付け	78.4%	98.9%
洗濯	60.8%	97.7%
掃除	70.9%	97.7%
育児	77.5%	97.7%
ゴミ出し	75.5%	82.8%
買い物	83.6%	98.5%

この結果から、男性も家事の分担に協力しようとする様子が分かります。このうち、「いつもする」「時々する」について、もう少し詳しく見ると次のようになります。

【家事全般の分担】

	男性	女性
いつもする	23.5%	86.8%
時々する	49.1%	9.2%
合計	72.6%	96.0%
ほとんどしない	18.2%	3.0%
全くしない	9.2%	1.0%
合計	27.4%	4.0%

家事全般の分担について、回答をまとめたところ次のようになりました。

Q あなたは次にあげる家事をどの程度されていますか。またその役割に満足していますか？

【家事の分担への満足度】

「満足・どちらかといえば満足」と答えた人の割合

	男性	女性
食事の支度	83.3%	83.0%
食事の片付け	88.9%	74.2%
洗濯	86.2%	89.2%
掃除	89.2%	81.3%
育児	81.5%	77.2%
ゴミ出し	86.8%	79.2%
買い物	88.9%	93.8%

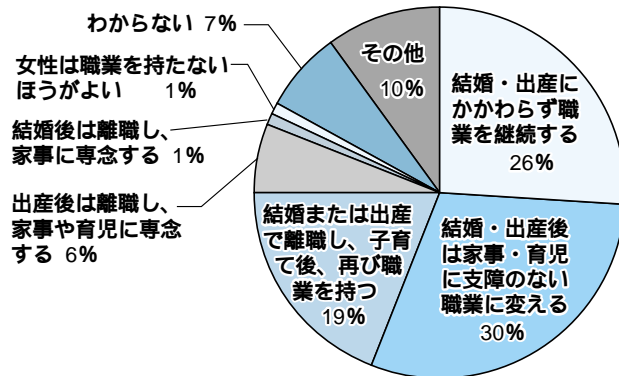
さらに、その家事の分担の満足度を伺ったところ次のようになりました。



(S)

この結果を見ると、家事をする男性の満足度は高くなっていることが分かります。中でも満足度の高い掃除や買い物などは、休日に家族で楽しんで行っているのでしょうか。これからの時代、核家族化はますます進むことでしょう。現役生活引退後の単調になりがちな人生を心豊かに過ごすためには、家中のことも外のことも大切になってきます。家事や社会とのつながりです。特に男性の家事への参加は家族のためだけでなく自分自身のためでもあると思います。

Q 一般に女性が職業を持つことについてどのように思いますか？



4人中3人が結婚・出産後は、家事・育児に支障のない職業に変えるなど、「結婚後も職業を継続したい」(継続する方がよい)との回答でした。なお、「女性は職業を持たないほうがよい」(1%・5%)を除いては、男女でほとんど数字に違いがないという興味深い結果が得られました。「その他」の中に「各家庭に合ったスタイルを選ぶと良いと思う」との回答が多かったのが印象に残りました。個人個人が、その時々々の状況に応じた働き方を選択できる、そんな社会が望まれていると考えられます。(M)

アンケートを終えて

今回のアンケートでは、30歳代の既婚の女性の回答が多いという傾向はありましたが、20歳代から50歳代以上までの男女の皆様からご意見を伺うことができました。ありがとうございました。

なお、未婚のかたにも上記の「女性が職業を持つこと」について伺ったところ、既婚者とほぼ同じ結果が得られました。

しかし、「家事ごとの分担」の質問になると、女性ではすべての家事で「共同です」との回答が多かったのに対し、男性では食事の支度、片付けなど「相手がする」という回答がほとんどであり、この点が既婚者との違いといえそうです。

結婚…この不思議な男女の関係。縁あって一つ屋根の下で暮らすカップル。親よりも、兄弟よりも、子どもよりも長く暮らすであろう大事なパートナー。「お互いを思いやるのが幸せの秘けつ」ということではないでしょうか。



L・フォルテをご利用ください

L・フォルテには、会議やサークル活動で利用できる、研修室・軽運動室のほか、サロン・喫茶コーナーもあり、どなたでもお気軽にご利用いただけます。

L・フォルテ主催による講座も、広報ふかやなどを通してお知らせしていく予定ですので、多くのかたのご参加をお待ちしています。

L・フォルテからのお知らせ

1階サロンにて

「先駆者の女性たち展」

開催中！

「時代を拓(ひら)いた3人の深谷の女性たち」と題して、深谷市ゆかりの北川千代・尾高ゆう・生沢クノが残した功績を紹介するミニ展示を行っています。

ぜひ、一度ご覧ください。



深谷市からのお知らせ

男女共同参画活動を行う団体を支援します。

市内で活動する団体が行った、研修会・講座など男女共同参画の推進に関する事業に対し、市から補助金が交付されます。

補助対象事業、補助金額などの詳細については、人権政策課男女共同参画係(L・フォルテ ☎ 573-4761・火曜日休館)へ、お問い合わせください。



埼玉県からのお知らせ

第3回さいたま輝き荻野吟子賞候補者募集

おぎのぎんこ

【対象】女性の社会参画に貢献している県内在住・在勤または県出身の個人が男女共同参画に取り組んでいる県内の団体・事業所

【申し込み】10月31日(水)までに所定の推薦書(県HP、県男女共同参画課、With You さいたま、県地域創造センターで入手)を、県男女共同参画課(☎ 048-830-2921)へ。

結婚して20年ほどになる。子どもは中学生になった。妻は毎日せつせと仕事(フルタイム)に通っている。うちがよそのお宅と変わっているところは妻の収入の方が私よりズツと多いことだ。子どもが生まれて以来、妻が外に出ている間、家事や育児は私の分担でやってきた。

妻は家事があまり得意ではなかった。それに独身時代から続けてきた仕事を妻は辞めたくなかったし、不安定な私の収入に比べるとずっと条件が良かったので、「妻が外、夫が内」という図式が自然に決まった。

家事や育児をやってみると、これが結構面白かった。保育園には、自分が

男のホンネ×女のホンネ

園児になった気分を送り迎えをした。そんな私に対し、妻は「あなたのやり方、全然ダメ！」と遠慮なく言った。言われ続けているうちに、いつの間にか慣れっ子になった。

最近、気が付いてみれば子どもは父親を当てにしくなくなり、妻も私を「アツシー君」くらいにしか見なくなっている。そろそろ私の「主夫業」もお役目終了のようだ。

そこで、思い切って仕事を探しに外に出てみた。が、50近い中年男をパートで雇うところはびっくりするほど少なかった。パートタイムでは女性の方が圧倒的に有利なのだ。それもこれも、人生計画をい



小川 恵美(おがわ めぐみ:編集長)
今の若者は「好きだから」という理由で安易に結婚を決めてしまう傾向があるそうです。

結婚は一生の問題。これから結婚を考えているかたが、今回の特集で、結婚に対するビジョンを確立するきっかけになったらと思います。

権田 重子(こんだ しげこ)
新婚時代の優しい二重妻が時には不協和音を経験したりして年を重ね、なお一層美しく味わい深い響きになる...それは「愛」でしょうが。

篠崎 泰彦(しのざき やすひこ)
結婚をしない生き方、子どもをつくらない生き方も、もちろんあり。ただ、結婚したいけどできないとか、子どもを産みたいけど産めない今の社会に何とか変わってもらいたいと思う。

清水 清美(しみず きよみ)
男女共同参画というと難しく思えるけど、お互いの事を認め協力し合う事から始まるのかなと思っています。アンケートの協力ありがとうございました。

編集後記

★編集会議では、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。編集活動の励みといたします。(連絡は下欄まで)

L・フォルテとは、レディ(Lady)・ライフ(Life)・レッスン(Lesson)の【L】と、音楽用語の【フォルテ】(強く)、ふかや、フレッシュ、フィーメール(女性)のfを意味しています

発行 / 深谷市役所(人権政策課男女共同参画係) 深谷市上柴町西4丁目2番地6 ☎ 573-4761 ☎ 573-4941

http://www.city.fukaya.saitama.jp/

E-mail: forte@city.fukaya.saitama.jp



この広報は大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています